

今、若者が日本の農業に注目しています。

世界の農業は、過去数十年で劇的に変化し、グローバル化、大企業化していきました。
それによって80億人近い人口を養えるようになっているのは大きな効果ですが、
同時にたくさんの負の副作用が生まれたのも事実です。
グローバル化による環境破壊、石油依存、多国籍企業による支配、
農業等による食の安全の危機、そして、地域コミュニティの崩壊などです。
今一度、立ち止まって、考えてみませんか？
「食」は、私たちが生きていくために絶対に必要なものです。
それを支える日本の農業は、持続可能な地域社会を目指し若者が担わなければなりません。
拓殖大学は農業に関心がある若者を支援します。
「農が支える地域づくり」(ASC: Agriculture supported community)を中心に、
農業の未来について、若者とともに何が必要なのかを議論します。



2022年 **11月19日** (土) 14:00~17:00

ライブ配信は
こちらから



参加者:200名+インターネットライブ配信 | 参加申込 締切11月10日(木)

プログラム

総合司会 長谷川朋加 氏 (2014年拓殖大学 政経学部卒業)

第1部 「特別企画」基調講演
野村哲郎 氏 農林水産大臣

第2部 卒業生 プレゼンテーション
増田春菜 氏 (JOCA勤務/2018年拓殖大学 国際学部卒業)
羽石遼祐 氏 (北見市・農業/2010年拓殖大学北海道短期大学 環境農学科卒業)

第3部 パネルディスカッション
テーマ 現代農業が生んだ問題を解決するためのASC(農が支える地域づくり)
コーディネーター 竹下正哲 拓殖大学 国際学部教授
パネリスト 田中英彦 拓殖大学北海道短期大学 副学長
飯尾裕光 拓殖大学北海道短期大学 招聘教授 (私立愛農学園農業高等学校副理事長、株式会社りんねしゃ専務取締役)
武藤千春 氏 (タレント、実業家、長野県小諸市農ライフアンバサダー)
加藤百合子 氏 (株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役、デジタル田園都市国家構想実現会議委員)

若者が担う日本の未来とSDGsと

農業シンポジウム

農が育む食と地域

開催場所 拓殖大学 文京キャンパス (E館後藤新平・新渡戸稲造記念講堂)
東京都文京区小日向3-4-14 地下鉄丸ノ内線「茗荷谷駅」より徒歩3分

主催 拓殖大学・拓殖大学北海道短期大学 後援 拓殖大学学友会、拓殖大学後援会